



令和6年度版

北中生の手引

弘前市立北辰中学校

電話 95-2019

年	番	氏名
---	---	----

1. くさ もゆるきたのみちのくいわきねは
きよきほくしんちゅうがくふるさとの

いただきしろし ああここにわれ
ほこりとたてり ああここにわれ

らそだちていだきたり たかきのぞみ
らまなびてかがやかん

を 2.かぜ かおるつが るくにはら

はなりんごよもにあふる る ああ

ここにわれ らつどいてうとーべし

あしたのさちを 3.なも ほしのごとく に

D.S.



校名「北辰」の由来

「政をなすに徳をもってするは、譬えば北辰の其の所に居りて、衆星これをめぐるが如し」（出典：論語為政編）

北辰とは北極星のことで、「国を治めるには指導者がまず、正しく、徳をもってなければならない。それによってはじめて庶民が自然と信頼するようになる。例えば、北極星が一定の所にいて凝然として動かなくても、他の星がそれを中心に回り、帰向するようなものである」との意味である。

北極星が夜空にさんぜんと美しくきらめいているように、徳性ゆたかな潤いと調和のある生徒像を描き北辰と命名したのである。

それを基盤に次の三つの指標を設定する。

- 溢れる知性
- 美しき詩情
- 逞しい気力

本校の教育目標と「めざす子ども像」

〈教育目標〉

たくましい生活力を持ち、知・徳・体の
調和のとれた人になる

北辰学区「めざす子ども像（15歳の姿）」

ふるさとを愛し、夢や目標に向かって歩み続ける子

[知] かしこく （進んで学び、豊かに表現する）

[徳] やさしく （きまりを守り、思いやりのある行動ができる）

[体] たくましく （命を大切にし、心身をきたえる）



1 生活の手引

～服装等に関わること～

1 学生服

- (1) 黒の詰め襟の上着で、右襟に校章の刺繍を入れ、左胸に校章入りの名札を付けます。また、ズボンは黒で、ベルト部分に校章の刺繍を入れます。上着・ズボンとも、標準型とします。
- (2) 夏季は、白のYシャツと、黒のズボンとします。
- (3) ベルトは黒か茶系とします。

2 セーラー服

- (1) 上着は、濃紺で左胸に校章入りの名札を付けます。襟には、エンジの線を二本付け、同色のネクタイをします。スカートは、ひだ付きで、丈は、ひざが隠れる程度の長さとし、冬季については、黒のストッキングにソックスを重ねて着用しても構いません。なお、セーラー服にスラックス着用を希望する場合は、学級担任に相談してください。
- (2) 夏季は白のセーラー服に濃紺のスカートとします。

3 その他の服装に関すること

- (1) 上着の下に着用するものは、夏季は、白・黒・紺のTシャツ(ワンポイント可)とし、冬季は、長袖で保温性に優れたものを推奨します。式の際は、白地とします。
- (2) 靴下は、白・黒・紺のくるぶしが隠れる長さのものとし、ます。
- (3) 運動着は、学校指定のもので、上下とも名前の刺繍が付いているものとし、夏季は、白・黒・紺のTシャツ(ワンポイントのみ可)とし、ハーフパンツは、内側に記名しているものとし、ます。
- (4) 髪は、中学生らしい髪型とします。また、髪が肩にかかる場合は、黒、紺のゴムで結わえるものとし、ます。
- (5) 履き物は以下のとおりとします。

- ・内履き…学校指定で学年色のズック
- ・外履き…運動可能なズック。冬季は、保温、防水性に優れたもの。

- (6) コート類は、防寒、保温性に優れたもの(カーディガン等、薄手のもの以外)とします。

4 その他

- ・衣替えは、原則として6月1日・10月1日です。
- ・服装は、学習活動・行事等で統一を指示する場合があります。

～校内での生活に関わること～

はじめに

学級は、学校生活の基本となる大切な場所です。楽しく有意義な生活が送れるよう、互いに協力しましょう。係活動等、自分の仕事に責任をもって行動し、生活の向上に役立ててほしいと願っています。

1 朝の動き

- (1) 8：00には、教室の自分の席に座りましょう。
- (2) 8：05から、静かに朝読書を始めましょう。
- (3) 8：15から、短学活を行います。
※ 2週間に1度、全校朝会または生徒朝会を行います。準備や移動は速やかに、無言で行いましょう。

2 授業

- (1) 授業の始めと終わりには、あいさつを行います。授業中は、先生の指示に従って学習を進めましょう。
- (2) 特別教室で授業を受ける場合も含め、定められた座席に着席しましょう。

3 休み時間

- (1) 休み時間は、トイレや水分の補給、次の時間の授業準備や移動のために活用しましょう。

(2) 昼休みの時間のみ、定められた割当に従って体育館が利用できます。

4 給食

給食は、望ましい食習慣や食に関する実践力を身に付ける、大切な活動です。定められたルールを守り、健康の保持・増進に役立てましょう。

5 清掃

清掃活動は、清潔で能率的な環境を整える大切な活動です。チームワークを大切にしながら、できるだけ無言で行うとともに、協力や責任、奉仕の気持ちを養いましょう。

6 その他

上記以外のルールや約束などについては、別に定めます。集団生活の中で、基本的な生活習慣を身に付け、人間関係づくりを進めながら、自主的な活動を進めるよう心がけましょう。

～校外での生活に関わること～

はじめに

皆さんは、北辰中学校の一員であり、社会の一員でもあります。中学生・社会の一員の自覚と責任をもった行動を心がけましょう。また、自身の安全と健康を確保し、社会的なマナーを学びながら生活してくれることを願っています。

1 交通安全

- (1) 登下校時は、安全を第一に、交通規則を守って行動しましょう。
- (2) 登下校時は、以下の点を守ることを条件とし、自転車の利用を認めています。
 - ・「青森県自転車の安全な利用等の促進に関する条例」を守ること。
 - ・定期的に整備され、本人の体格に合った自転車であること。
 - ・ヘルメットを着用すること（厳守）。

- ・ 道路交通法を厳守すること。
 - ・ T Sマークや学校のステッカーを貼付すること。
- ※上記のルールを破った場合は、自転車利用の承認を取り消す場合もあります。

2 スマホ・ネットの利用

現在、スマートフォンやタブレット、ゲーム機等を利用して、インターネットを利用する生徒が増えています。家族と連絡を取りあったり、学習に活用したりするなど便利である反面、利用ルールや時間、SNS等の使い方に関しては、大きな課題も見られます。そこで、次の点を家族と話し合い、スマホ・ネットの安全・安心な利用を進めてください。

- (1) 使用時間・ルールに関しては、家族と話し合っただけで決めましょう。
- (2) SNS等の利用に伴うトラブルや、いじめ、危険行為などに関する正しい知識をもち、自分自身の安全を守りましょう。

3 その他

- (1) 外出する場合は、身分証明書を携行し、保護者に外出先や帰宅時間等を知らせましょう。
- (2) 夜間の外出は、危険が伴うため、保護者に同行してもらうなど、安全の確保に努めましょう。友人の家に外泊することは、原則として認めていません。
- (3) ゲームセンターやカラオケボックス等には、立ち入らないようにしましょう。
- (4) 地域の祭り、宵宮等に参加する場合は、中学生として責任をもって行動しましょう。

2 学習の手引

(1) 学習の目標は？

- 学習は、皆さんが、自分自身の「よさや可能性」に気付き、周りの人と協力しながら、社会の変化を乗り切るために必要な活動です。
- 自分自身の将来の生き方や目標を見付け、その実現に向かって、力を付けることが、学習活動の大きな目標なのです。
- 自分に合った学習方法（授業を大切に、家庭学習に取り組む）をじっくりと探し、先生方のアドバイスを生かしながら、工夫や改善を進めていきましょう。
- 日々の授業では、次のア～キを意識しましょう。
 - ア 授業の準備をしっかりと行い、集中して授業に取り組んでいる。
 - イ 学習課題に興味・関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。
 - ウ ペアやグループでの学習に協力して取り組んでいる。
 - エ 分からないことを質問したり、調べたりしている。
 - オ ノートづくりを工夫し、学習のまとめをしている。
 - カ 家庭学習を計画的に進め、時間を確保している。
 - キ 1人1台端末を利用・活用している。

(2) 自分の考えを広げるためには？

- 道徳の時間を大切に
 - ・様々な道徳的価値を理解するために、読み物資料等を活用し、話し合い活動などを通して、よりよく生きる力を身に付けましょう。

- 読書習慣を付け、図書館の利用を
 - ・朝読書の時間を活用し、読書する習慣を身に付け、様々な知識や感性を養いましょう。
 - ・学校図書館を活用し、様々なジャンルの本に触れ、幅広い知識を学んだり、人の生き方に触れましょう
- ICT（1人1台端末）の活用を
 - ・1人1台端末を活用し、学習等において、ICTを利活用できるようにしましょう。

(3) これから大切にしてほしい力とは？

- 社会が急激に変化し、様々な力を身に付けることが求められています。しかし、どんな時代も変わらないことは、
 - ・自分自身の興味・関心の幅を広げること。
 - ・学習に対する意欲をもって、取り組むこと。
 - ・基礎・基本の力を確実に身に付けること。
- です。日々の授業や、家庭学習は、これからの時代を生き抜く、大きな力となります。
- 日々の授業・家庭学習（道徳）以外でも、体験活動や、総合的な学習の時間、特別活動（生徒会や委員会）、健康づくりなど、学校には、様々な「学び」があります。それぞれのバランスをとる力も大切なのです。

- 本校では、半世紀以上にわたって受け継いできた目標（北中生が目指す姿）があります。それが、教育目標なのです。

たくましい生活力を持ち、知・徳・体の調和のとれた人になる。



国語

国語の学習には、読む、書く、話す、聞く、の四つの分野があつてどれもそれぞれに大切です。この四つの分野を中心に国語の勉強方法を紹介します。

1 読む

- ① 文章を読んで理解するために、新しい語句の意味や働きを辞典やタブレットで調べる。二つ以上意味がある場合、文中でその語句がどの意味で使われているかを考える。
- ② その文章の組み立てを理解するのに役立つような語句に注意して読む。例えば、指示語（「それ」とは何をさすか）、接続語（文と文のつながりをはっきりさせる）に注意して文章全体を読み、大まかな意味をつかむ。
- ③ 次に
 - ・文章の主題（テーマ）、要旨（大体的内容）をつかむ。
 - ・段落どうしの関係を読みとる。
 - ・情景や人物の心情を読みとる。
 - ・先に調べた語句の意味について、文中ではどう使われているかをとらえる。
 - ・要点を正確におさえる。
説明的文章では文章の構成と展開に気をつけて要点をおさえ、中心部分をとらえる。文学的文章では主人公の心の動き、場面、情景の移り変わりを正確にとらえる。

2 書く

- ① 漢字は一年の教科書などから順に毎日少しずつ練習し、積み重ねる。特に、漢字一字は簡単でも、見慣れない熟語は、書けなかったり読めなかったりするので、注意して熟語で練習する。
- ② 漢字の筆順と部首を覚えるようにする。
- ③ 作文は、機会をとらえて（例えば修学旅行、遠足、読書感想など）まとまったものを一年に二、三編を目標に書く。また、書く力を高めるために、事実と意見を意識して書きわけたり、

書く段落の中心となることばを箇条書きしてみたりするとよい。

3 話す・聞く

- ① 話し合い、会議での発言、反応の仕方、司会の進め方、報告や発表の仕方、聞き方などを教科書の文章を読んで理解し、実際に使えるようにする。
- ② 敬語（尊敬語、謙虚語、丁寧語）を普段から使うようにすると身に付く。

社会

社会科は、覚えることが大変な教科だと思っている人はいません。今のような地球や人間社会が、「どのようにして形づくられてきたか」「どのような問題を抱えているか」を学び、これからの私たちは、現在や未来をどうすればよいのかを考える教科です。

また、戦争や環境破壊などの、現在起きている問題は、地球人一人一人が無関心ではいけないことです。社会科は好き嫌いに関わらず取り組まなければならない教科です。

これまで人間がしてきたこと、今、人間がしていること、社会の変化に対応してこれから人間がしなければならないことについて、しっかりと知識を身に付け、考え、中学生なりの意見をもち、表現することが大切です。

そのようにして社会科に取り組むとき、心がけてほしいことがあります。

○予習・復習に心がけること

- ・その日の授業で、どのようなことを学習したか、「いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのように・結果」を自分で思い出してみる（まとめてみる）。
- ・その授業のまとめが、次の授業の手がかりとなります。そして前の授業の手がかりをもとに、家庭で教科書・地図帳・参考書・インターネットなどから、次にどんなことを学ぶのか、どのような変化が起きそうかなどを考えてることが、社会科の予習です。

初めのうちは、以上のようなことで十分です。学年が進むにつれて、次のような方法で行えるようにしていきましょう。

数 学

1 地理的分野

- ① 地図帳でどこを勉強するかをはっきりさせる。(全体図や地方図をみて、どこに何があるかをはっきりさせる)
- ② 自然の特色を知る。(土地のようす(地形)をとらえる。雨温図を調べ気候の特色を知る。など)
- ③ そこに住む人々の生活の特色を調べ、自然や歴史との関係を考える。
- ④ 何が、どこで、どれだけ生産されているかを調べる。
- ⑤ 発表した条件について調べる。
 - ・自然的条件(地形・気候など)
 - ・歴史的条件(国・地方・郷土の歴史・人物など)
 - ・社会的条件(法律、資源、貿易、交通機関など)

2 歴史的分野

- ① 歴史的事実を調べる。
(いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのように・結果)
- ② 歴史的事実と特に関係深い他の事実とは何かについて、前の時代や同じ時代との関係を考える。
(原因・経過。政治—産業・人々の生活—文化との関係)
- ③ 学習した時代の歴史的内容をまとめる。
(時代の特色・文化の特色)

3 公民的分野

- ① 政治や経済の仕組みや制度を調べる。
(教科書の図を読みとる)
- ② 歴史的な変化を調べる。(特に江戸時代以後の変化に注意)
政治…歴史的分野と関連が深い
経済…地理的分野と関連が深い
- ③ 事実を知り、問題点を考える。その解決方法を考える。

学習のところがまえ

「数学とは？」の問いに一言で答えることは難しいのですが、人類の進化の歴史をたどると間違いなく言えることは、「壮大な夢を実現するために、あるいは困難な問題を解決するときに数学は大きな役割を果たしてきた」ということです。数学という難しいイメージですが、「努力は才能に勝る」という言葉があります。まずは、以下に書いてあるような学習を実行してください。しっかり取り組んでいく過程で自分にあった学習の仕方がわかってきます。がんばりましょう。そして筋道を立てて考える学習を通して数学の楽しさも味わってほしいと思います。

1 教科書は最強の参考書

教科書を読むことは勉強のなかで一番大切なことです。今日の数学の時間は「どんなことを、どのような筋道で、どんなふうに考えて解いていくのか」要点は何か。何を求めるのか。図を描いたらどうなるか等を考えながら読んでみましょう。要点には赤線、疑問点には青線を引くのも1つの方法です。

2 計算力をつけよう

いくら考え方、解き方を理解できても、計算力がなければ中途半端な結果に終わります。めんどくがらずに、計算の筋道をはっきりさせ、反復練習(ドリル)をしてください。

3 図を正確に書こう

考え方、解き方の手助けになる図を正確に書き、分かることを整理することで、問題の解決方法のヒントが得られ、数学の力がついてきます。

4 考えよう

数学は考える力を養う教科です。考えた！わからない！やめた！というのではいけません。要点は何か。何を求めるのか。どんなことをどのような筋道でどのような順序で考えることが

できるかということが数学を勉強するという事です。

5 予習・復習をしっかりと

- ① 数学の本当の面白さは予習から生まれる。
先生に教わったことを問題練習すればよいと考えている人がいるようですが、それでは数学の本当の面白さが分かりません。

- ・時間がある程度とれるとき
教科書に目を通し、要点・用語には赤線、疑問点には青線を引き、例、例題を解いてみよう。できなくても気にすることはありません。どんな考え方で、どのような筋道で解いているか、もう一度読み直し、授業でしっかり先生の説明を聞きましょう。
- ・時間があまりとれないとき
明日はどのようなことを勉強するのか、教科書に目を通し要点・用語には赤線、疑問点には青線を引く程度は必ずやっておきましょう。

- ② 数学の力を伸ばすのは授業である。
数学は難しい教科ではなく、他の教科とは違った性格の教科であることをある程度分かっていることが大切です。だから、勉強の仕方他他の教科と違ってきます。

- ・学習用具を忘れない…コンパス、三角定規
- ・先生の説明をよく聞く…要点、用語・質問
- ・ノートに要点をまとめる…説明の補充（自分でも工夫）
- ・自分の力で問題を解く…級友の考え方も参考に

③ 継続は力なり

数学では毎日の復習の積み重ねが特に大事です。授業での要点を整理し、理解し、問題練習を数多くやろう。

- ・整理をしっかりと
- ・数多くの問題に触れる
- ・毎日の練習が効果を上げる

- 1 中学生の理科について
中学校の理科は、内容A（物理・化学の内容）と内容B（生物・地学の内容）の大きく2つの分野があります。
- 2 授業について
 - ・実験、観察のほとんどがグループで協力して行うものです。
 - ・役割分担をしっかりと行ってから作業に入り（計時、記録、発表など）、誰か一人に負担がかからないようにしましょう。
 - ・準備、片付けは全員で行い、次の人が使うときに気持ちよく使えるように片付けましょう。
 - ・楽しく活動しましょう。興味をもって実験、観察し、いろいろなことに疑問をもったり質問をしたりして学習しましょう。
- 3 注意事項
 - ・指示があるまで、薬品類や器具を触らないこと（事故防止）。
 - ・器具が破損した場合は、素直に申し出ること。
 - ・準備室の出入りは禁止します（薬品類の事故防止）。
- 4 家庭学習について
 - ・理科は予習よりも復習を大切にしましょう。
 - ・家に帰ったら、その日の学習の内容をノートで確認したり、ワークを使ったりして何回も取り組みましょう。
 - ・用語の暗記・計算練習を反復して行いましょう。慣れてきたら積極的に活用・応用問題にチャレンジしましょう。

英 語

- ・クラスの仲間と積極的に英語で話そう。
(英語力向上&コミュニケーション力向上)

1 家庭学習

- ① 宿題を必ずやる。
- ② 単語練習や基本文の練習を覚えるまで繰り返しやる。
〈練習→テスト→丸つけ→間違ったところを練習→テスト〉のサイクルで根気強く取り組もう。
- ③ 習ったところの教科書の本文を音読する。
- ④ 教科書本文の内容を予習・復習する。

2 授業

- ① 先生の話をよく聞く。
- ② 英語を話したり、読んだりするとき、間違うことを怖がらずに、積極的に声に出す。
- ③ 仲間の間違いを笑わない、バカにしない。
- ④ 実際に声に出して話したり、読んだりすることや、書いたりすることを面倒がらない。
→実際に体を使う事が大切。ただ見ているだけで泳げるようになったり、跳び箱が跳べるようになったりしないのと同じです。
- ⑤ ペアやグループでの活動の時は、わからないところをお互いに聞き合ったり、教え合ったりする。
- ⑥ アクティビティ（言語活動）について
英語の授業では、アクティビティ（言語活動）を行います。
☆なぜアクティビティをやるの？
・できるだけ緊張せずにたくさん英語を話したり聞いたりする機会をみなさんに与えるためです。
→いきなり「みんなの前で話しなさい」よりは、ペアやグループで練習したり、十分に練習してから発表したりする方が負担が少ないですね。
・わからないところは友達同士お互いに聞き合ったり教え合ったりすることもできます。

☆アクティビティをやる時に大切なことは？

- ・英語でしっかり話す。
- ・1対1で話す。

3 テスト前の学習

- ① 教科書、ノートを見直す。
- ② ワーク・プリントを繰り返しやる。
(間違った問題はできるようになるまで何度でも)
- ③ 書けない単語・連語を書けるまで書く。
- ④ テスト範囲の基本文の語順を覚え、正しい語順で英文を作れるようにする。
→・基本文を暗記する。
・ワークやプリントの問題を解く。

4 テスト後の学習

テストは終わってからの後始末が大事。
何点をとったか、誰よりも何点勝ったかよりも、どの問題が間違っていたか、なぜ間違ったのかを知り、テスト直しをすることが重要！

美 術

1 学習の目的

さまざまなものの美しさを感じる豊かな心を磨き、自分の感じた美しさを理解する。

2 学習の内容

(1) 表現する

- ・絵画…………風景画・静物画・人物画・木版画など。
- ・彫塑・工芸…飾っても楽しむものや生活に使えるものの制作など。
- ・デザイン……ポスター制作や文字のデザインなど。

(2) 鑑賞する

- ・身のまわりから世界中の作品を、実物（展覧会など）や複製（教科書・スライド・VTRなど）を通して鑑賞する。

3 学習の心がまえ

- (1) 作品づくり…よく話を聞き、集中し、考え制作する。他の作品のよいところをよく見て取り入れたりする。
- (2) 用具…必要なものをそろえ、大切に使い、安全に使う習慣をつける。
- (3) よい作品を完成させようと、どれだけ工夫、努力したかが大切。

技術・家庭科

私たちが、学んだことや、体験したことを基にして、それらを活用し、より豊かな生活をめざすための基礎を学習します。衣食住や保育、環境やものづくり、コンピュータや栽培などについて、実習をまじえた学習を行います。

- 1 普段、気をつけること
自分の生活や様々な技術に関心を持つ。
自分の生活を工夫し、より良くしようとする。
- 2 授業にあたっては
学習した知識や経験をもとに、学習や実習に取り組む。よりよい作品をつくるため、考え、手を動かし、自分の工夫を加える。

音 楽

音楽は歌唱、器楽、鑑賞、創作の4分野の学習をします。歌唱では、合唱曲を始めいろいろな曲を歌います。器楽ではアルトリコーダーや和楽器の演奏方法について学び実際に曲を演奏します。鑑賞は時代を超えて鑑賞されている曲を味わいます。創作はリズムなどを工夫して音楽を作ります。

- 1 忘れ物ゼロのため音楽袋準備
(マイバッグに道具を入れて完成!)
- 2 歌う、聴く、作る、演奏するなど、みんなで活動する時間を大切に
- 3 「できないこと」は悪くない。まず取り組んで挑戦してみよう

保健体育

保健体育は体育分野と保健分野の2分野を学習します。体育分野では、運動を楽しみながら体力を身に付け、知識・技能を高めます。保健分野では、健康や安全について学び、明るく豊かな生活を送ることができる態度を育てます。

- 1 すぐに出来るときと出来ないときがあります。まずは、積極的に体を動かすことや、仲間と協力して取り組むことが大切です。
- 2 運動に適した服装や身なり（髪、爪など）を意識して整えよう。
- 3 体調管理やケガ防止を心がけよう。

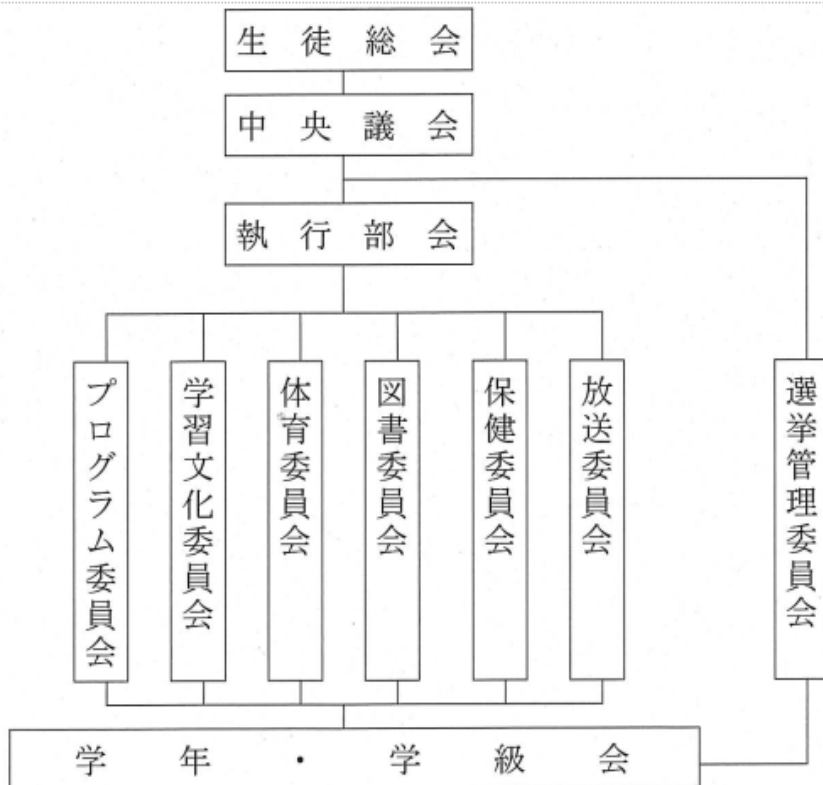
生徒会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は弘前市立北辰中学校生徒会と称する。
第2条 本会は弘前市立北辰中学校生徒を会員とし、教師の指導・助言を得て自主的に活動する。
第3条 本会は会員の自主的活動によって、心身の健全な発達をはかるとともに、友情と協力を重んじ、よりよい校風の発揚と民主主義の発展を目的として、この会を組織する。

第2章 組 織

- 第4条 本会は次の組織を構成する。



第3章 役 員

- 第5条 本会は次の役員をおく。(学年は選挙時の学年)
会 長 1 名
副 会 長 2 名 (2・1年から各1名)
書 記 2 名 (2・1年から各1名)
事 務 局 員 若干名 (任命)
議 長 1 名 (2年から任命)
副 議 長 1 名 (1年から任命)
委 員 長 6 名
第6条 会長と副会長・書記は公選とし、任期を1年とする。その他の役員は、各委員会顧問と協議のうえ選出し、会長の指名によって決定する。
第7条 会長は本会を代表し、会務を総括する。
第8条 副会長は会長を助け、会長事故あるときは代行する。
第9条 書記、事務局員は本会の記録・整理、文案作成・広報などにあたる。議長、副議長は生徒総会及び中央議会、執行部会の議事進行にあたる。
第10条 各委員長はそれぞれの常任委員会を総括し、その活動を推進する。

第4章 生徒総会

- 第11条 総会は定期・臨時にわかれ、本会の最高議決機関とする。
第12条 定期総会は毎年2回とし、会長が召集する。臨時総会は会員の要望を中央議会が審議し、必要と認めた場合と会長が緊急必要の場合召集する。
第13条 総会は次の事項を審議する。
1. 会則の制定及び改正
2. 予算の決定及び決算の承認
3. その他生徒会の目的達成に必要な事項の決議

第5章 中央議会

- 第14条 中央議会は総会に次ぐ議決機関である。
第15条 中央議会は各学級代表・男女各1名によって構成され、毎月定例議会を原則とする。

第6章 執行部

- 第16条 執行部は本会の議決事項を誠実に執行するものとする。毎週1回の召集を原則とし、また必要に応じて会長が臨時に召集することができる。
- 第17条 執行部は会長・副会長・書記・事務局員・議長・副議長で構成する。
- 第18条 常任委員会には、保健・体育・図書・学習文化・放送・プログラムの各委員会をおき、各委員会はそれぞれの目的に従って活動するものとする。
- 第19条 各委員会の委員人数は、各期ごとに実情を踏まえて、前・後期の委員会組織会前に、各委員会顧問と特活指導部長が相談し、職員会議で承認の上、決定する。
- 第20条 各委員会は委員の互選によって副委員長をおく。また、応援団は団員の互選によって副団長をおく。

第7章 選挙管理委員会

- 第21条 本会の役員選出にあたっての一切の選挙事務を取り扱い、公明正大な選挙の施行に当たる。
- 第22条 委員はそのつど学級より1名選出し、互選によって委員長を選ぶ。

第8章 会計

- 第23条 会員は本会の発展と活動のために会費を納入する。
- 第24条 本会の会費は生徒総会の議決と職員会議の承認をもって決定する。
- 第25条 本会の会計報告は生徒総会でおこなう。

第9章 附則

- 第26条 本会の審議事項は、生徒総会の過半数の賛成を得ることによって決するものとする。
- 第27条 生徒会役員改選は10月とする。

第28条 規約改正は、生徒総会の議決及び、必要に応じて生徒総意に基づいて行う。

- 平成23年10月 学習委員会、文化委員会統合
平成24年 5月 第26条削除（以下条文繰り上げ）
平成24年10月 規律委員会を学プロに統合
平成25年 5月 第3章第6条を改訂
平成26年 5月 第3章第5条と第6条を改訂
平成27年11月 第3章第5条と第9条、第6章第17条を改訂
平成29年 5月 学年プログラムをプログラムに統合
第2章第4条、第3章第5条と第6条、第6章第18条を改訂
平成31年 5月 部活動名変更のため、改訂。

委員会

- 保健委員会 …校内の環境美化と衛生思想の向上に関する事項
- 体育委員会 …体育的行事に関する事項
- 図書委員会 …図書館の運営、読書に関する事項
- 学習文化委員会 …学習態度の育成と文化的行事に関する事項
- 放送委員会 …校内放送に関する事項
- プログラム委員会…全校朝会の整列指導、朝読書の監督、生活面に関すること

部活動

各自の能力の発見や能力の伸長をはかり、互いの人間関係を深め充実した北中生活をおくってもらうために活動します。

- ・生徒による自主的な活動をします。
- ・任意加入となります。
- ・開設する部活動は、その年度の初めに発表します。